

## 「第10回全国盲ろう者体験文コンクール」受賞作品

特賞

何が困りますか？

藤江美樹（ふじえ みき）（京都府 全盲ろう）

「何が困りますか？」と聞かれることは少なからずある。しかし、その答えに困る。私は盲ろう者。だが、「盲ろう者って何？」と思う人はまだまだ多い。「視覚障害者」、「聴覚障害者」なら分かるが、「盲ろう者」って聞いたことがないということのようだ。

目が見えないことで困ることは、たくさんある。耳が聞こえないことで困ることは、たくさんある。見えない、聞こえないとなると困ることが両方、いや、プラスアルファとなり、困ることだらけなのだ。見えない人は耳を頼りに、聞こえない人は、目を頼りに情報を得る。目からも耳からも情報を認識できない盲ろう者にとっては、目の代わり、耳の代わりになってくれる人がいなければ、解決できないことも多い。体温計でいえば、デカ文字体温計、音声体温計、どちらも数値の確認が困難な場合は、誰かに見てもらい、伝えてもらうしかない。

家の中にあるものでも何か分からない。台所にしても、袋だけで砂糖、塩、小麦粉、強力粉、お好み焼き粉、片栗粉、コーヒー、ココアと、たくさん置いてある。調味料にしても、醤油、みりん、料理酒、油、酢など、よく似た容器が、ずらりと並んでいる。感触、匂い、ペロリ……で判別できるものはまだしも、箱状のカレー、クリームシチュー、ビーフシチューなどは、未開封だと全部同じものに思える。それに加え、賞味期限、分量、調理方法もさっぱり分からない。変色や傷み、カビもなかなか判別ができない。

物を落としてしまったときは、泣きそうになるが、地震で落ちて割れたガラスのコップ、夏には、砂糖が床にこぼれていたことも、蟻が大行列をしていたことも気づかず、普通に歩いていた。当然、後始末も一人では困難である。地震や台風の後には、雨漏りや崩壊、倒壊、以前と変化したことはないかなどの被害確認も誰かを頼らざるしかないが、いつも誰かがいるとはかぎらない。

来客があったとき、振動でチャイムが鳴ったことに気づくも、玄関に向かうのは、躊躇する。ドアを開けても相手の話し声、男性か女性か、知っている人か知らない人か、どこにいるのか、何ひとつ分からない。事前に約束があっても玄関に出るのは怖い。宅配便や書留配達には、対応したいと思うのだが、ドアホンのモニターで確認や、ドア越しの会話に代わる対応方法は、何かないものだろうか？

ここで、人間の五感の感覚機能とは、なんだっただろうかと気になったので、調べてみた。すると、「目・耳・鼻・舌・皮膚」となっている。なるほど。視・聴が難しければ、嗅覚・味・触でと自然に実行していたわけだ。それでも困ることが多いのは、五感が欠けると不便さが生じるということであろう。

「盲ろう者」といっても見え方、聞こえ方は、個々違う。また、進行性のため、以前と比べてかなり変わったということもよくある。15年前、視野狭窄があったものの、一人で歩行、両耳補聴器使用で会話もなんとかできていたことで、「弱視難聴」、その後、視力が低下し、一人で出掛けることが困難となり「盲難聴」に、そして、4年前に、突然明暗も分からない完全失明となり、聴力も一気に低下、言葉の聞き取りもできなくなったことで「全盲ろう」へと変わっていった。その都度、受け止めきれない心の葛藤がある。今までできていたことが、できなくなる。コミュニケーション方法もまわりとの付き合いも趣味や特技も、使いこなしていた電化製品も、生活のすべてが変わってしまうのだ。携帯電話やファックス、テレビや映画、カラオケや楽器演奏、アーチェリーやボウリングもいまや無縁となってしまった。連絡手段も一時途絶えたが、点字を覚えたことで再びパソコンでメールができるようになった。デコシールや点字シールを貼り付けることもあたりまえになった。しかし、正直、面倒な作業なので、点字付きの商品があれば、それを選ぶ。

ところで、点字付きの家電に何故点字付き説明書がないのだ？ メーカーにも問い合わせたが、墨字のみである。点字や音声があれば、使いこなせる人も多いことを理解いただいた上で、サピエ図書館に説明書のデータ提供を義務付けてもらえないだろうか？ また、部品を取り外して洗うことができるものも数多くあるが、目印となる箇所に文字や記号で書いてあるのと、凹凸があるのとでは、ずいぶん違う。触って識別できる形状が増えると、盲ろう者にとっても便利なものに変身する。世の中は、いろいろな製品が次々と出まわっているが、盲ろう者にも使える物になることが、安心できる暮らし、自立に繋がっていくのではないだろうか。

解決策が見つからない課題は、まだまだ沢山ある。「できない」ではなく、「できるようになる」といった情報を得られる場、環境、サポート情報の充実も重要ではと感じている。ろうベースがほとんどで、盲ろう専門施設もない地域のため、情報が入りにくい。点字ディスプレイ関連も、情報がまったく入らず、トラブルがあったときの対処法もあちこちに問い合わせるも、未解決のままである。みなさんは、すぐに解決できているのだろうか？やはり地域の環境によって差がでるのだろうか？ 盲ろう者であるがゆえの困難は、たくさんあるが、少しでも軽減される環境になればと願っている。

(原文点字)

-----

盲ろう者の専門誌「コミュニカ」第59号（全国盲ろう者協会）より

-----